

町政を問う

防災訓練をさらに深める取り組みを

町長 家庭で備える防災を啓発のひとつに加えたい



永井 欣也

全国学力テストの結果をどう活かす 教育長 分析・改善方策を年間指導計画見直しに

防災について

永井 広島市の土砂災害と同様、本町にも真砂土質の地域があり心配する。砂防、河川整備について、国や県との協議は。

町長 国には関係自治体で大山砂防協議会を作り、要望や情報交換をし、県には日常的やり取りと毎



防災訓練

年の要望で、より早くところから整備願っている。
永井 避難勧告や情報伝達等への本町の対応は。

町長 防災無線やケーブルテレビなど、積極的に情報伝達を進める。

日野川河川事務所の観測カメラのデータ閲覧も、防災ハンドブックのコンパクト版に個人の行う情報収集を入れない。

永井 行政と連携を密にした防災訓練が必要では。

町長 区長協議会と共催で行っている。昨年参加者は三千人弱と多く、関心は高い。危なくない避難ルートなど、地域で確認して。家庭でできる防災も啓発に加えたい。

永井 「ひなん場所」の看板の位置づけは。

総務課長 H二十五三年三月に見直した防災計画に基づき、六八施設に設置。避難者少なく短期的な一次避難所と避難者多く長期的な二次避難所がある。



ひなん場所の看板

地震対応では、頑丈で長期的に避難可能な場所のみ指定している。

永井 一次、二次の分かりやすい告知、対策を。

人口減少対策に 関連して

永井 県の子育て王国とっとり条例の期待感と企業の責任分担に県の指導をとの発言の意図は。

町長 公立保育所に非常に負担のしわ寄せがある。県には皆で子育てをとの良い理念はある。選ばれ

持続する企業のため、条例制定した県が責任をもつて指導し、理念広めて。



子育て王国とっとり条例パンフレット

全国学力テストについて

永井 八月二十五日文科科学省が結果を公表。本町の結果をどう捉えているか。

教育長 小学六年、中学三年のみ対象。中学三年の平均正答率は全国、県を上回り良好。小学六年は一進一退。子供数少なく、その年どしの違いが顕著である。

永井 この結果を本町教育にどう活かすか。

教育長 数値に一喜一憂することなく、全国標準学力調査とも併せ、分析結果、改善の手だてを周知し、次年度以降の指導計画に活かしたい。

永井 同時実施されたアンケートで気になったところは。



授業風景

教育長 家庭学習の時間が少ないという課題。自己有用感、自尊感情に良い傾向が見られた。